

令和3年度 第1回 井伊谷小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和3年6月13日（日） 午後1時45分から午後4時40分まで
- 2 開催場所 井伊谷小学校 多目的ホール
- 3 出席委員 安戸 哲弘、中村 朋子、中野 正雄、高林 幸子、田力 裕美、  
永田 琢也、上野 好司、永野 大成
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 山本 俊行（校長）、井村由紀子（教頭）、徳増 弘宣（CS 担当）
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 協議事項

- (1) 会長の選出及び副会長の指名について
- (2) 議長の選出について
- (3) 井伊谷小学校運営基本方針について
- (4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について
- (5) ボランティア募集について

8 会議録作成者 CS 担当 徳増 弘宣

司会の井村教頭から、委員総数11人うち11人の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

また、井村教頭から委員の委嘱の説明と、委員各自の自己紹介があった。

その後、教育総務課小川様から、本年度よりコミュニティスクール導入の説明があった。

(1) 会長の選出及び副会長の指名について

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、立候補者がなかった。その後、司会より安戸委員にお願いしたいとの申し出があり、全員異議なくこれを承認した。また、会長に選任された安戸委員から、中野委員を副会長に指名する旨の報告があった。

(2) 議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、高林委員から今回は本人が担当する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

(3) 井伊谷小学校運営基本方針について

議長の指示により、山本校長から、別紙資料「井伊谷小学校学校経営について」に基づき、学校運営方針について説明があった。学校の児童数や現状について、いくつかの質問があったが、競技の結果、全員異議なくこれを承認した。

委員からは、特にCSについての以下の発言があった。

◎「CSって、何だろう。どうやっていけばいいのだろう。」（中野副会長）

- ・まずは、組織づくりがスタート。教育の質を向上させていきたい。児童に刺激を与えたい。（校長）

◎「教職員の任用に関して、学校運営委員会が意見を述べることができる」とあるが、詳しく教えてほしい。(安戸会長)

- ・井伊谷小学校が力を入れている点に即して、「こんな人材が必要」と校長の後押しをする。書類で教育委員会に提出する。(総務課小川)

◎CSの役割は、具体的には、どんなことですか。(高林議長)

- ・2～3年実践していく中で、受け継がれていく。時間をかけて考えていくことです。(総務課小川)
- ・「～をやらなければいけない」ではなく、「～ができる」と、無理なく、長・短期的視点が大切ではないか。(校長)
- ・学校が「こんな子供に育てたい」という方針に沿って、お手伝いをしたい。(中村委員)
- ・学校(先生)が困っていることを聞いて、人を紹介するなど、橋渡し(お助け)できる立場。(田力委員)
- ・この地域の子は、「この地域外に出ると、力が発揮できない」と言われることがある。CSの取り組みで、こんなに変わったんだという結果を出したい。地域に愛着がもてるようになってほしい。(永田委員)

(4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

教頭から、「夢育やらまいか事業に対する意見書」について、説明があった。

- ・地域の古代遺跡や文化遺跡に関係する図書の購入、講師を招いての講話、花壇の整備、自然とかかわる活動を行う。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(5) ボランティア募集について

CS担当から、今学校で必要なボランティアについての説明があった。

- ・ホオズキ農家は、6区にいる。(高林議長)
- ・裁縫の得意な方が、知り合いにいる。(中野副会長)

◎ボランティアしてくださる方の保険はどうなるのか。(永田委員)

- ・市の保険が適用される。(総務課小川)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他の報告事項等

司会から、次回会議は10月8日(金)午後1時40分から(授業参観を含む)、多目的ホールで開催する旨の報告があった。

また、次回の議長については中村委員が行うことに決まり、協議の結果全員異議なくこれを承認した。